

共生社会システム学会ニュースレター

The Association for *Kyosei* Studies

HP <http://www.soc.nii.ac.jp/aks/>

2008年7月16日発行 第5号

目次

1. 2008年度「共生社会システム学会」大会開催のご案内	1
2. 編集委員会の活動報告	3
3. 運営委員会事務局だより	4

1. 2008年度「共生社会システム学会」大会開催のご案内

2008年度「共生社会システム学会」大会の開催まで10日あまりとなりました。

「地球温暖化と共生社会」を大会シンポジウムのテーマに7月26日(土)に東京農工大学小金井キャンパスにて開催いたします。学会員皆様の奮ってのご参加をお待ちしております。大会プログラムは以下のとおりです(多少の変更がございますのでご注意ください)。

大会実行委員長 矢口芳生(東京農工大学大学院農学府教授)

午前の部

9:00 受付開始 (講義棟1階ロビー)

9:30 ~ 12:00 個別報告 (講義棟 L0011・L0012・L0013・L0014)

午後の部

13:00 ~ 17:00 シンポジウム「地球温暖化と共生社会」(講義棟 L0026)

座長:(以下敬称略)

堀尾正韜(ＪＳＴ社会技術センター)・平田豊(東京農工大学大学院農学府教授)

報告者:

三村信男(茨城大学教授・地球変動適応科学研究機関長)

「気候変動の影響評価と2つの対策」

鳥谷 均(独立行政法人農業環境技術研究所連携推進室長)

「地球温暖化の農業生産に及ぼす影響」

古沢広祐(国学院大学経済学部教授)

「グローバル化と地球温暖化」

17:00 ~ 18:00 総会 (講義棟 L0026)

18:00 ~ 20:00 懇親会 (大学生協)

午後の部におきまして前回お伝えしましたプログラム(ニュースレター第4号)と、シンポジウムと総会が入り替わっておりますので、ご注意頂きますようお願い申し上げます。

共生社会システム学会2008年度大会個別報告

セッション (会場)	座長	時間	報告者	所属	報告タイトル
A (L0011)	船倉正憲 (東京農工大学)	9:30 ~ 10:00	上柿崇英	高崎病院付属看護学校	“多様性”の“機能的な役割”と社会システムの持続性 “社会 生態システム論”の視点から
		10:00 ~ 10:30	大倉 茂	東京農工大学大学院	オートポイエーシスの可能性 機械論克服に向けて
		10:30 ~ 11:00	大塚 昇	東京農工大学大学院	情報化社会における新たなコミュニティの特性
		11:00 ~ 11:30	高橋さきの	お茶の水女子大学ジェンダー研究センター研究協力員	知の状況性をいかに認識させるか 繊維機械を授業に利用する
		11:30 ~ 12:00	轟 海松	東京農工大学大学院連合農学研究科	上海市における高齢者生活実態に関する研究 2008年の実証調査から
B (L0012)	島崎 隆 (二橋大学)	9:30 ~ 10:00	布施 元	東京農工大学大学院連合農学研究科	環境思想と「物語」に関する一考察 「共生」の視点を契機として
		10:00 ~ 10:30	増田敬祐	東京農工大学大学院連合農学研究科	共生社会に向けて人と人との関わりの在り方を検討する
		10:30 ~ 11:00	チ・エン	東京農工大学大学院連合農学研究科	ロールズの公共的理性を超えて
		11:00 ~ 11:30	関 陽子	東京農工大学大学院連合農学研究科	「自然の価値」から「自然の意味」へ
		11:30 ~ 12:00	三沢朋有	コープとうきょう	風土と時間
C (L-0013)	淵野雄二郎 (東京農工大学)	9:30 ~ 10:00	吉田 央	東京農工大学	流域社会システム論の観点からみた韓国の流域管理政策
		10:00 ~ 10:30	平野信之	農研機構 中央農業総合研究センター	都市農業における市民参加型の共生農業システム 「市民参加型農業経営」を核とした連携・協働
		10:30 ~ 11:00	殷 佩瑜 (イン・ハイユ)	東京農工大学大学院連合農学研究科(茨城大学)	中山間地域農業振興における畜産物産直の意義と課題 岩手県久慈市山形町と「大地を守る会」との日本短角牛産直を事例として
		11:00 ~ 11:30	吉川光洋・津谷好人	パルシステム生活協同組合連合会・宇都宮大学農学部	農村地域における「ターン」者の普及員としての役割に関する一考察 岩手県遠野市におけるグリーン・ツーリズムの展開を事例として
		11:30 ~ 12:00	澤口隆志	市民セクター政策機構	生活クラブの「生産する消費者運動」の到達点と課題
D (L-0014)	小野直達 (宇都宮大学)	9:30 ~ 10:00	アラ坦沙 (アラタンシャ)	東京農工大学大学院連合農学研究科	内モンゴル自治区の環境調和的牧畜業の発展について 風土を手がかりに
		10:00 ~ 10:30	薩日娜	東京農工大学大学院連合農学研究科	内モンゴルの持続的な酪農経営に関する考察 興安盟2酪農地域を対象として
		10:30 ~ 11:00	榎平龍宏	農政調査委員会	農業への参入企業の存立構造と地域農業との共生・連携の課題
		11:00 ~ 11:30	Suadi and Mitsuhiro Nakagawa	United Graduate School of Agriculture Science, Tokyo University of Agriculture and Technology, Ibaraki University	Sharing Nicely the Commons - The Balinese Solution to the Tragedy of the Commons-
		11:30 ~ 12:00	種市 豊	農協流通研究所	加工・業務用野菜の生産と産地の実態 T農協を事例として

「共生社会システム学会」2008年度大会シンポジウムの趣意

2007年度のノーベル平和賞にアル・ゴア元米副大統領と IPCC（気候変動に関する政府間パネル）が選ばれたことに象徴されるように、地球温暖化対策は人類が協力して取り組むべき緊急の課題として認識されつつある。また、日本政府も本年7月の洞爺湖サミットに向けて、より積極的な温暖化対策を提起しようと準備をすすめている。

しかしながら、日本は国民への意識啓発と技術開発の面で進んだ実績をもっているものの、政府全体のビジョンと「社会経済的な仕組みをつくること」において遅れをとっている状況にある。こうしたなか、地球温暖化問題を解決する社会システムのあり方を、共生の視点から問い直すことの意義は大きいといえる。

そこで、本シンポジウムでは地球温暖化がもたらす地球環境への影響を確認するとともに、とりわけ農業・食糧生産を中心に国民生活に何が起きているのかを理解し、地球環境問題に関連した持続可能な発展と社会経済的な転換の可能性について議論したい。

大会担当理事： 朝岡幸彦・野見山敏雄

2. 編集委員会の活動報告

学会誌『共生社会システム研究』第2巻は7月末発刊予定で、大会に参加される学会員の皆様には当日、受付にて配布する予定です。第2巻は学会設立シンポジウム・パネリストによる論文と一般投稿論から構成されます。

第3巻以降については随時、投稿論文を受け付けておりますので、会員各位におかれましては奮ってご投稿ください。投稿規程などの詳しいことは学会ホームページ（ブログ版）<http://jaks.exblog.jp/>内の「投稿規程」を参照してください。また、投稿原稿の執筆および提出の際は、同ホームページの「執筆要領」に従って作成・提出してください。

投稿についての質問および問い合わせは、下記、編集委員長 武田までお願いします。

『共生社会システム研究』編集委員長 武田庄平
国立大学法人東京農工大学大学院 共生科学技術研究部 比較心理学
〒183-8509 東京都府中市幸町 3-5-8
E-mail: takeda@cc.tuat.ac.jp TEL: 042-367-5588 (ダイヤルイン)

3. 運営委員会事務局だより

先日開催されました洞爺湖サミットの成果についてはいろいろなご意見があるようです。洞爺湖サミットでの声明内容を踏まえながら、地球温暖化問題について本大会で活発な議論が展開されることを期待しております。学会員の皆様にも積極的に議論に加わって頂ければ幸甚に思います。

大会午前の部では、4会場各5報告計20の個別報告が予定されています。多数の方々のご参加をお待ち申し上げます。

先日、皆様のお手元に学会費納入の請求書が届いたことと存じます。現時点での納入率は芳しくありません（昨年度分も含めて）。未納の方におかれましては、学会費（正会員6,000円、学生会員3,000円）を是非ご納入頂きますようお願い申し上げます。

ところで、今号が、現運営委員会事務局が編集する最後のニュースレターとなりました。学会設立以来、皆様のご協力のもと事務局を務めさせて頂きました。この間、至らぬ面が多々あったことと存じます。書面を借りましてお詫び申し上げます。

学会員皆様への情報提供等さらなる学会事業の充実を次期運営委員会事務局に託したいと思えます。現在、学会員数は175名に達しています。学会の円滑な運営には学会員皆様のご協力が不可欠です。皆様には、新運営委員会事務局に対しまして一層のご協力をお願い申し上げます。

2年間お世話になりました。皆様のご協力・ご支援に対しまして運営事務局一同感謝申し上げます。ありがとうございました。

共生社会システム学会

会長 小原秀雄（女子栄養大学）
副会長 尾関周二（東京農工大学）
水本忠武（宇都宮大学）

運営委員会事務局

矢口芳生（運営委員長）
秋山満、安藤光義、稲村亮、千年篤、
中尾誠二、中島正裕、吉田央

共生社会システム学会ニュースレター 第5号 2008年7月16日発行

編集・発行 共生社会システム学会運営委員会事務局

連絡先 〒183-8509 東京都府中市幸町3-5-8 東京農工大学農学府 千年篤研究室 気付

TEL: 042-367-5687 E-Mail: chitose@cc.tuat.ac.jp

郵便振替 00130-6-372850 （加入者名）共生社会システム学会